

# 町政を問う 3月定例会

## 一般質問

### 8議員が質問に登壇！

大津町のさまざまな課題等について、議員が町に考えを聞くのが一般質問。議員は政策提言も含めて、質問することができ、内容は自由です。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせいたします。

1. 豊瀬 和久議員

2. 山本富二夫議員

3. 荒木 俊彦議員

4. 永田 和彦議員

5. 山部 良二議員

6. 三宮 美香議員

7. 金田 英樹議員

8. 佐藤 真二議員

#### Q おくやみ手続きを効率的に行える仕組みをつくるべき

#### A 新庁舎建設にあわせて「おくやみコーナー」を検討する



豊瀬 和久議員



兵庫県三田市のおくやみコーナー

#### その他の質問

- ・JR肥後大津駅周辺の将来ビジョン
- ・フューチャーデザイン手法の活用
- ・外国人観光客に対する災害時の支援体制

Q ご遺族の負担を軽減するため、おくやみ手続きを効率的に行える仕組みをつくるべきだ。  
お客様シートに氏名や生年月日などの必要事項を書き込むと関連書類が一括作成されるシステムに改善するとともに、煩雑な手続きを手助けする「おくやみコーナー」を設置するべきだ。

A お悔やみ手続きが少しでもわかりやすく、スムーズに済ませることができるよう、事前予約の取り組みも進めたい。「おくやみコーナー」は、新庁舎建設に併せて新たなシステムの導入を検討したい。「おくやみハンドブック」は、現在、お渡ししている「死亡後について」の内容をさらに充実させ、新たなハンドブックを作成したい。(町長)

## Q バス路線の新設とバス停の名称変更

### A 巡回バスなどの可能性を含めながら検討



山本 富二夫議員



環状線バス路線図

#### その他の質問

1. 町にある文化財を町指定文化財へ
2. 新たな町の観光地の発掘を
3. 小中学校の防犯セキュリティー向上を

Q JR肥後大津駅は、朝晩、利用客数が非常に多い。

JR肥後大津駅から、あけぼの団地・翔陽高校・美咲野小学校経由でJR肥後大津駅までの近距離の周遊バス路線の新設をし、地域住民の利便性向上を考えてはどうか。(一周20〜30分で大人料金100円)

A 公共交通会議の中で議論を踏まえた上で検討する。(総務部長)

Q 本田技研熊本前のバス停は水迫で分かりづらい。

本田技研熊本にバス停名の変更をできないか。ホンダのある町としてPRしてきた。名称としてもわかりやすいと思うので関係者やバス事業者と協議を進めたい。(町長)

## Q 町営住宅の入居の引き継ぎ、居住の権利保障を

### A 安心して生活が続けられるよう、見直しをする



荒木 俊彦議員

#### 【参考資料】

#### 熊本市営住宅の 住まいのしおり より

名義人が亡くなったり、離婚等で転居した場合において、引き続き入居を希望されるとき…

#### 【必要な条件】

- ①入居承継しようとする方が、名義人が死亡、転居時の同居人（市が同居を認めていること）で3親等以内の親族。
- ②家賃の滞納が3ヶ月以上ないこと
- ③収入基準を超えていないこと
- ④入居承継しようとする方が暴力団員でないこと

#### その他の質問

- ・国道代替道路（新小屋・桜山線）の危険回避を
- ・豊肥線復旧を望みながら

Q 町営住宅の入居者の相談で「自分ももし亡くなったあと同居している子どもが入居を継続できるか?。役場に聞いたら、配偶者以外の働いている子への引き継ぎはむずかしい」とのこと。

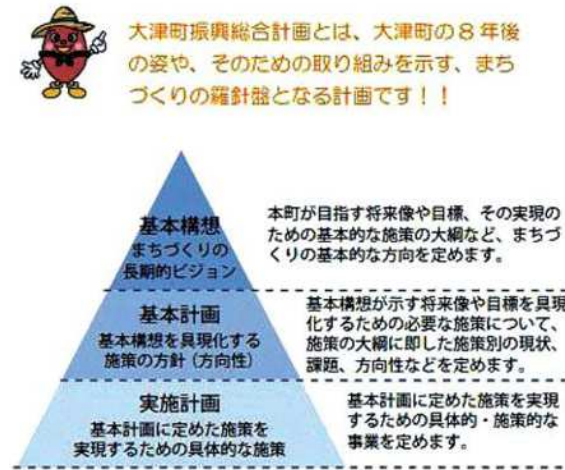
A 住宅の入居の承継は国の通達を準用してきたが、入居者の高齢化など親子間の入居の引き継ぎの心配は当然と考えられる。入居者の方が不安なく引き続き安心して生活していただけるよう、入居引き継ぎの基準について緩和することを明確にしたい。入居者の方々にわかりやすく説明できるように、条例・要綱も見直しを進める。(町長)

## Q 施政方針について

### A 町の経営マネジメントを高めていく



永田 和彦議員



#### その他の質問

・阿蘇くまもと空港アクセス問題

Q 随所に今後の財政的不安が表れている。必要最低限の行政経費と戦略的な計画が求められ、各事業の公共性の検証をさらに強め、廃棄と刷新を進め引き締まった財政運営をすることが望まれている。公務員と民間企業との違いは赤字という概念の差である。民間企業は赤字が出れば知恵を絞り、経費を削り、それぞれが人一倍仕事をして、黒字になるべく努力をする。すなわち赤字の機能はたつき成長していくのである。

A 現存する公共施設を大規模改修したり、そのまま同規模で建て替えを行ったと想定した場合、40年間で97.3億円、年平均24億円以上の費用がかかり、投資的経費の平均と比較すると年間約4億円不足する。第6次大津町振興総合計画にて内外部評価を実施しPDCAサイクルに基づいたマネジメントを行い、最小の経費で最大の効果が得られるよう事務事業の見直し等を行っていく。(町長)

## Q 空港アクセス鉄道 空港～大津間直通運行を

### A 利便性の確保や観光振興に努めていく



山部 良二議員



#### その他の質問

※第6次大津町振興総合計画・基本構想・前期基本計画について

- 1 産業の活性化について
- 2 男女共同参画社会実現に向けて

Q 県はJRとの協議で、熊本駅から空港までの直通運行の余地を残している。それは、三里木～大津間の減便の可能性が残されたままです。将来的に、アクセス鉄道が豊肥線に乗り入れる可能性が高いと考える。根拠は、車両検査のために、必ず豊肥線に乗り入れる必要性があるからで、県民の熊本駅から空港までの直通運行の要望が強ければ、すぐにでも、要望に応えることができる。ですが本町としては、乗り入れを、ネガティブに捉えず、ピンチをチャンスに変える提言を、即ち大津方面

にも乗り入れ線を確認し、空港から大津・阿蘇・南阿蘇への直通列車の運行を県に提言するべきでは、町長の見解を伺う。

A 県は利便性維持のため乗り入れはしないと発表しているが、検討する場合は、負担の一切を県が負うという合意がある。将来にわたって利便性が維持確保できるよう、議員提案の乗り入れに伴う引き込み手法や豊肥本線の一部複線化等も含めて検討し、県やJRに、提案や要望をおこなっていく。(町長)

## Q 学校の働き方改革をサポートする体制づくりを

### A 協力体制がとれる組織づくりを検討する



三宮 美香議員

29→30年度	小学校教職員	中学校教職員
月80時間以上	7.6% →9.8%	33.1% →26.1%
月100時間以上	1.7% →2.1%	19.8% →12.4%

超過勤務時間

**Q** 昨年度の大津町の教職員の超過勤務の状況から考えると、1日4時間、時間外勤務をするか、土日に必ず出勤するということになる。

この冬もインフルエンザが大流行したが、教職員は十分に休業できなかったのではないかと心配の声も聞いた。

きめ細かな働き方改革をサポートする体制づくりが必要ではないか。

**A** 今年度は、町内校長会と町教育委員会が連携し、働き方改革ワーキングチームを立ち上げ超過勤務時間の削減を中心に取り組みを検討及び実践してきた。中学校においては効果が出ているが、小学校においては、まだまだもう少しのところ。

できるだけ協力体制が取れるような、組織づくりも今後検討していければと考える。(教育長)

## Q 規制強化を好機に！「ふるさと納税」まずは1億円を

### A 更なる寄付拡大につなげていきたい



金田 英樹議員



**Q** 本年6月は還元率3割超え、または、地場産品以外を返礼品としている自治体(市町村等)が寄付控除の対象から外れる法改正が予定されている。この流れは還元率を順守している当町にとっては朗報である。

現在は泉佐野市への寄付が360億円を超えるなど、還元率の高い自治体に寄付が集中している。しかし、還元率が統一される今後は、純粋な町および町産品の魅力をどう発信するかが一層重要となる。

大津町への寄付は約3千万円だが1億円を超えられる自治体は1788団体中609団体あり、まだまだ伸ばす余地がある。

**A** 各提案に対して、①返礼品の充実を図るとともに、パンフレット作成をはじめ、宣伝効果を高める手法を検討する。

②町出身者からの寄付拡大に向けては、町を応援できる用途指定の充実や、各地県人会等での紹介に力を入れたい。

③町の新たなファンや来町者からの寄付獲得に向けた「肥後おおづスポーツ文化コミッション」等との連携は、何ができるかを研究したい。(町長)

#### その他の質問

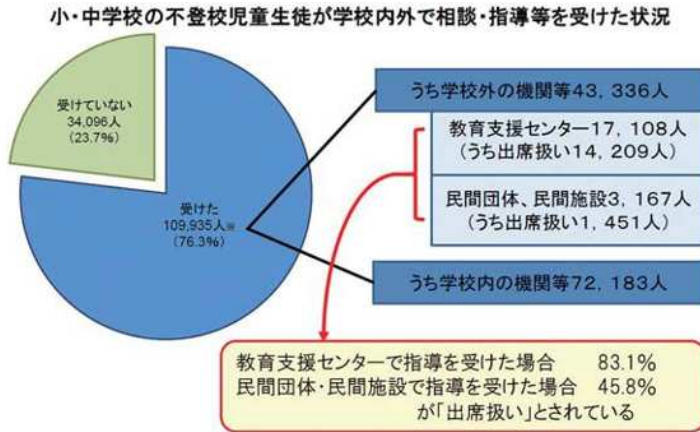
・今後10年に向けた町の都市計画戦略

## Q 不登校、子どもの利益に沿った支援を！

A 要件に沿って対応している。今後は検討。



佐藤 真二議員



文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」(平成29年度)より作成

### その他の質問

・災害備蓄計画を町民に丁寧に説明する必要がある

Q 町の不登校の子ども数人が熊本市内のフリースクールに通っている。一定の条件を満たした民間施設で学習している場合、原籍校で出席扱いとすることができれば、それが「当該施設が学校への復帰を前提としていない」ためそれを認めていないという。平成29年の教育機会確保法の施行に伴い、不登校への対応は、「学校復帰を前提としな

い」ことになっており、自分の根拠がおかしい。子ども達への支援のためにも「出席扱い」とすべきではないか。  
A 現在の出席扱いの要件は「学校復帰を前提としている場合」となっており、学校と協議し欠席扱いとしている。  
(教育部長)  
今後は、出席扱いになる方向も含め考慮していく。  
(教育長)

## 経済建設委員会 意見交換会

## 大津・菊池の観光振興には 豊肥線の早期復旧が優先



大空港構想があっても、空港周辺事業自治体だけで良いのかというところではない。  
近隣それぞれの自治体

### 大津町議会

主な議題は、阿蘇くまもと空港の利活用について活発な意見交換を行いました。

二月六日 菊池市役所において、大津町議会経済建設委員会(7名)と菊池市議会経済建設委員会(9名)との、意見交換会を開催しました。

### 菊池市議会

空港と大津、菊池の観光振興を考えるならば、まずは豊肥線の早期復旧が優先ではないだろうか。空港と菊池温泉間のバスの運行を行ったが、利用客数が少なかった。

が、意見を交換し懇親を深めることによって相乗的な地域振興を図りたい。



大津町



菊池市

